

令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 泰明小学校

1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	【4月】令和6年度「学習力サポートテスト」の結果は、3学年とも全国や区の平均正答率を上回っている項目が多い。ただし5年生の書く力には個人差が見られる。高学年では、文章構成は理解しているが、誤字脱字や作文用紙の使い方を間違っている児童がいる。また、一文を長く書いてしまう児童が多い。話すこと・聞くことの活動で、自分の考えを相手に伝える場面において、自分本位の話し方、伝え方が見られる。 【10月】
算数・数学	【4月】令和6年度「学習力サポートテスト」の結果は、3学年とも平均正答率を上回っている。5年生は、「基礎」、「知識・技能」の領域においては更に向上させたい。5年生、6年生では「データ活用」の領域の記述問題に課題が見られた。自力解決の能力は長けているものの、比較検討をした際の理解に不十分な点がある。 【10月】
社会	【4月】令和6年度「学習力サポートテスト」の結果は、4年生、5年生の思考・判断・表現の平均正答率が区平均を下回る内容があった。4年生の「生産や販売」、「市の様子に移り変わり」、5年生の「都道府県の様子」「特色ある地域の様子」、「自然災害からくらしを守る活動」、「伝統や文化、先人の働き」に課題がある。資料の読み取りはできるが、比較することについてはまだ不十分である。 【10月】
理科	【4月】令和6年度「学習力サポートテスト」の結果は、3学年とも目標値を上回っている。ただし「生命・地球」では、5年において微増としている。正答率分布では区の分布と比べ、70%の児童が多くなっている。 【10月】
英語	【4月】令和6年度「学習力サポートテスト」の結果では、全国の平均正答率と比べて全ての項目で上回っている。しかし、区の平均正答率と比較すると、「聞くこと」「読むこと」は下回っており、特に「読むこと」に関しては約4ポイント区の平均正答率を下回る結果となっている。 【10月】
体力向上	【4月】体力テストの結果から、各学年で種目ごとに課題が見られる。学年別、種目別で下回っているものは、1年生の「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」「長座体前屈」、高学年では全体的に「上体起こし」「ソフトボール投げ」「50m走」に低い傾向が見られた。 【10月】

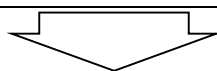
2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国 語	【4月】「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、参加校の平均点を上回るようにする。 【10月】	「学力サポートテスト」実施学年だけでなく、低学年からの指導で文章を書くときの決まりを習熟させる。各単元の学習の中で文章を読み取る力を身に付けさせることで、書く力、推敲する力を身に付けさせていく。文章を書くことが苦手な児童には、学習用タブレットを活用することで負担を減らしたり訂正しやすくしたりする。話す・聞く活動では考えを整理して、話題に沿った建設的な話し合いができるよう、適宜、思考ツールや学習用タブレットを活用する。
算数・数学	【4月】「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、参加校の平均点を上回るようにする。 【10月】	自力解決の時間は設けているものの比較検討の時間を設定できないこともあるので比較検討の場面を増やす。また、学習用タブレットを効果的に活用していく。
社 会	【4月】「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、参加校の平均点を上回る、もしくは同率になるようにする。 【10月】	体験的な学習を通して身の周りの社会事情を自分の生活と関連させて考える時間を設ける。資料を比較する活動を増やし、資料を見る視点を提示する支援を行っていく。プレゼンテーションソフトを作って、自分の考えを相手意識をもって表現する活動をすることで、主体的な学習を進めていく。
理 科	【4月】「令和7年度学習力サポートテスト」の全ての実施学年で、参加校の平均点を上回ることと、正答率70%の児童の正答率を高める。 【10月】	生活の中で体験したことや学習の中で実験したことを基盤とし、更に比較検討したこと等を記述してまとめたり、違う視点で既習事項を活用したりする時間を設ける。また、端末のドリルアプリやプリントでの学習で、習熟を図る。
英 語	【4月】「令和7年度学習力サポートテスト」で、区平均点を上回る、もしくは同率になるようにする。 【10月】	英語に対して苦手意識をもっている児童もいるので、歌やゲームなどの活動を取り入れるとともに、何度も繰り返して学習する時間を設ける。また、日常生活の中で外国語を活用する機会が増えるよう計画をする。 例) 街頭インタビュー等
体力向上	【4月】「令和7年度体力テスト」で、どの項目も全国平均と同率になるようにする。 【10月】	朝の時間に運動を行う「泰明タイム」で、基本的な運動習慣をつけるとともに、体育の学習でも、起き上がりの動き（上体起こし）を意図的に取り入れていく。更に、日常的に児童に体力の高まりを実感できる機会を設けていく。マイスクールスポーツの持久走の実施方法を継続し、児童が意欲的に運動に取り組めるようにする。

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
取組	・学習の計画を立てる時点で、一人一人が個人の課題や目標を設定し、自分に合った方法で学習に取り組める機会を設ける。 ・学習したことを、学習用タブレットを活用して表現したり、話し合いを充実させて新しい考えを生み出したりする活動を推進していく。 ・今年度の校内研究の内容とし、授業改善を図る。

探究的な学びの充実	
取組	・各教科の単元に応じた学びを広げ、自分で問題を設定し、その問題を解決するために学習用タブレットを活用して情報を収集して学習を進める機会を設ける。 ・3年生以上は家庭学習を自主学習とし、調べ学習に主体的に取り組ませる。

読解力の育成	
取組	・読解力の基盤である語彙を読書活動で増やす。 ・国語の学習で、文章の構造や内容の把握のポイント、文章の読み方の学習を充実させるとともに、文章の内容について、自分の考えを書いたり、発言したりする活動も充実させる。



3 取組結果の検証

	令和7年度の取組の成果	令和7年度の取組の課題と解決策
国 語		
算数・数学		
社 会		
理 科		
英 語		

体力向上		
------	--	--

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
成果と課題	

探究的な学びの充実	
成果と課題	

読解力の育成	
成果と課題	